



vol.2

## Eros

## ラグジュアリーとエロスの密なる関係

皇は、いったいどこから生まれるのラグジュアリーを追求したいという なくともことばに関するかぎり

当てくる「ラグジュアリー」も、「肉欲」っ生まれた。シェイクスピアのお芝居っ生まれた。シェイクスピアのお芝居

高級で潤沢で贅沢、という今の意味 ラグジュアリー」が帯びるのは、7世

のは、昔のことばの幻と無関係ではない は、色欲というかエロスが眠る。現代 つまり、あくまでことばのうえの話 常的なお楽しみに耽溺することをラ 語のラクサス (luxus) があり、原義 」の下部構造、膨大な無意識の層 に別格の濃厚な艶を与えた。現在 スな退廃の香りに変えることに成 くしたいなら、その母であるラグ マの著述家キケロは、「もし強欲

その母である色欲をこの世からなくさ ou must abolish its mother をこの世からなくさねばなら

して大きく飛躍さえしている。

身裸の男性に3人の女性の足が

なかの・かおり●エッセイスト・服飾史家。1962 年生まれ。東京大学文学部および教養学部卒業。 東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得。イギリスのケンブリッジ大学客員研究員な どを経て文筆業に。イギリスとその文化にも詳しい。連載記事は日本経済新聞朝日新聞ほか多数。 近著は『着るものがない!』『モードの方程式』(共に新潮社刊)など。訳書も多数手がけている